

生活してみませんか？



生活のこんなところを変えたら、CO₂を削減することができます

下記項目に取り組んだ場合の年間削減量（親子4人世帯）

○照明器具

白熱電球（54ワ）4灯の点灯時間を1時間短縮すると

CO₂削減量：37.0規 電気代節約額：1,890円

○テレビ

1日2台1時間つけている時間を減らすと

CO₂削減量：38.4規 電気代節約額：1,930円

○暖房器具

ストーブの設定温度を1℃下げると

CO₂削減量：325規 灯油代節約額：9,100円

○冷蔵庫

冷蔵庫の中身を整理整頓すると

CO₂削減量：8.7規 電気代節約額：120円

○電子レンジ

根菜（ジャガイモなど）100gの下ごしらえをガスコンロから電子レンジに変えると

CO₂削減量：12.7規 ガス代節約額：880円

○シャワー

家族全員で1日のシャワーを出している時間を4分間短縮すると

給湯器 CO₂削減量：85.2規 ガス代節約額：5,920円

上下水道 CO₂削減量：8.3規 水道代節約額：4,050円

○ガスコンロ

水1ℓを沸騰させるとき、強火ではなく中火にすると

CO₂削減量：5.7規 ガス代節約額：400円

○温水便座

放熱を防ぐために便座のふたを閉めると

CO₂削減量：17.5規 電気代節約額：1,170円

○自動車

アイドリングストップを行い、急発進・急ブレーキせず、カーエアコンの使用も控えめにすると

CO₂削減量：131規 ガソリン代節約額：5,990円

自動車利用を減らし、公共交通機関を使用すると

CO₂削減量：316規 ガソリン代節約額：2,440円

これらの行動を1年間行くと

年間のCO₂削減量が約990規

となり、1世帯から排出されるCO₂の約14%となります。

金額にして約34,000円の節約です。



地球温暖化って？

地球はCO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスを含む大気に覆われています。温室効果ガスには、大気中の熱を宇宙に逃がさない働きがあり、これまで地球は適度な気温に保たれていました。近年、私たち人間が森を壊したり、石油などの化石燃料から作ったエネルギーを大量に使うようになったりしたことから、CO₂が増え過ぎ、大気中に熱がこもるようになりました。

こんな可能性が...

◆約100年後には平均気温が約3℃上昇し、冬日（最低気温が0℃未満）が約3分の1減少。

◆台風の巨大化や洪水の発生などの異常気象が増加。

私たちにできることって？

日常生活でのちょっとした気遣いでCO₂排出量を減らすことができます。特に本市ではCO₂排出量の約90%が身近なところで排出されている（下表参照）ことから、私たちの日常生活を見直して、エコで地球に優しい生活を心掛けてみましょう。

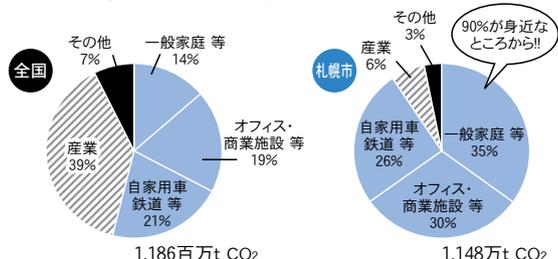
札幌市のCO₂排出状況は？

本市の2006年度のCO₂排出量は1,148万t_{CO₂}（札幌ドーム約3,400杯分）。

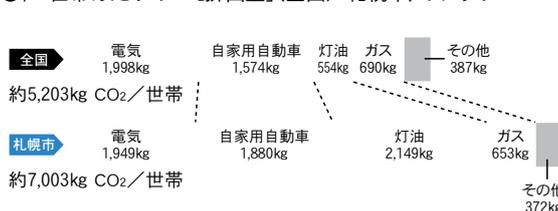
部門別では、工場などの産業分野からの排出より、一般家庭やオフィス、自家用車といった身近なところからの排出が際立って多く、全国では約50%であるのに対し、約90%を占めています。

また、1世帯あたりの排出量では、全国の1.3倍で、特に灯油の使用量が多くなっています。

●「CO₂の排出状況」(全国/札幌市)のグラフ(2006年度)



●「1世帯あたりのCO₂排出量」(全国/札幌市)のグラフ(2006年度)



※CO₂削減量及び節約額は目安です。使用環境等により差があります。

※出典：「さっぽろエコとくガイド」「さっぽろエコライフ12」